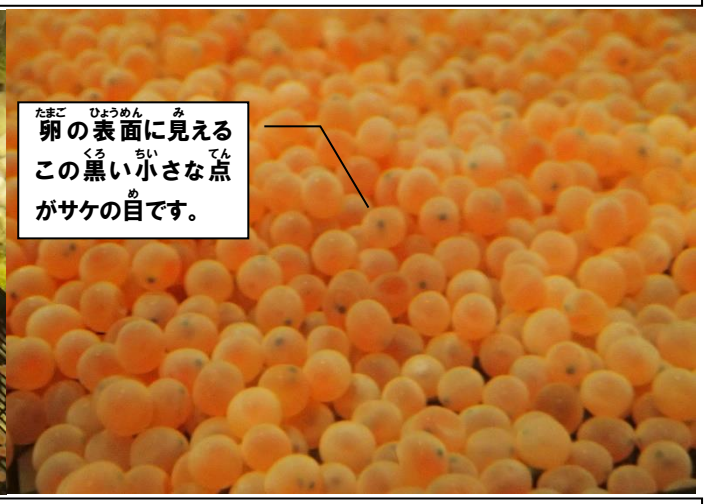
サケ成長日記2018

平成30年11月21日（水） 水温11度

11月21日（水）、新井田川漁業協同組合サケ孵化場へシロザケの受精卵を受け取りに行ってきました。受取後、マリエントへ帰館し、水槽に入れる作業を行いました。
慎重に、ゆっくり水槽の中の黒い網の上に卵を乗せていきます。
この黒い網は、大事な役割をしていて、孵化後、稚魚たちはこの黒い網の間をすり抜けて、下に敷いている玉石の間に入り込み、しばらくの間身を潜めます。無事孵化が終わると、この黒い網の上にはきれいに卵の殻だけが残るので、そのまま水槽から網ごと取り除けば、水の汚れにも繋がりません。



今回頂いた卵は、１０月２１日（日）に採卵されたもので、約１，０００粒の発眼卵を頂きました。
新井田漁業協同組合では、水温１１度で管理されていたので、マリエントでも同じく１１度で飼育をスタートします。来年の５月の放流に合わせて少しずつ８度位まで下げていきます。
卵に黒い小さな点が見えますが、これは、サケの目です。この状態の卵を発眼卵と言います。
無事、マリエントの水槽に移しました。さぁ、今年度のサケ成長日記はじまりはじまりー！